

悪法強行、民意無視

安倍政治を終わらせよう!

外国人労働者
入管法改定

政府・自公のごまかし、強権暴走を糾弾



参議院議員・弁護士

日本共産党

仁比そうへい

第197回臨時国会は12月10日、閉会しました。日本共産党の仁比聡平参議院議員は、民意を無視して採決強行を繰り返した安倍政権の暴走と対決。入管法改定では、外国人労働者を「安価な労働力」とし、劣悪労働のまん延に拍車をかける危険性を浮き彫りにして、政府のごまかしと与党による強権手法を厳しく糾弾しました。

深刻な人権侵害、雇用の調整弁：

道理ある論戦で追い詰める

入管法改定案をめぐる仁比議員の論戦は、11月28日の参議院本会議（写真）での代表質問から。仁比氏は、問題点が浮き彫りになるなかでの衆院の採決

強行を厳しく糾弾し、「外国人材の活用を求める経済界の要求をなによりも優先するからではないか」

「外国人労働者を単なる労働力、雇用の調整弁として扱い、深刻な人権侵害を引き起こしてきたことに反省はないのか」と安倍総理に迫りました。

翌29日の法務委員会では2回にわたって質問。建設業が失踪実習生の4割を占めていること、同業では、ほぼ100%を実習生からの移行を見込んでいることを指摘し、

本気の共闘を实らせよう

福岡 市民と政党の対話集会に参加

仁比議員は1日、「市民連合ふくおか」が福岡市で開いた「市民と政党の対話集会」に野党国会議員4人とともに参加しました。

と強調。考えの違う野党の国会議員がそろって登壇していることの意義をのべ、「安倍政治に立ち向かう本気の共闘を实らせることが真剣に問われている。集会を機に発展させよう」と語りました。

四国キャラバン宣伝 各地の街頭で訴え



仁比議員

は8日、未

明まで続け

た国会から

香川県に駆

け付け、四

国キャラバ

ン宣伝に合流。「安倍政治をきっぱり終わりにするために自民・公

と強調。考えの違う野党の国会議員がそろって登壇していることの意義をのべ、「安倍政治に立ち向かう本気の共闘を实らせることが真剣に問われている。集会を機に発展させよう」と語りました。

「劣悪な環境でも働かざるをえない人を新制度で使い続けたただけだ」と批判。12月3日の法務委員会では、野党による失踪実習生の聴取票分析で67%が最低賃金未満で、10%が過労死水準を上回る残業を強いられていたことを指摘し、「（改定案は）

明、その補完勢力を少数派に追い込もう」と呼びかけました。

福山市で演説会

佐世保市で国政報告

1日は、広島県福山市の演説会で「暮らしと経済に大打撃を与える消費税増税を中止に追い込もう」と訴え、2日には、長崎県佐世保市で国政報告会を開きました。

日本共産党・参議院議員

仁比そうへい国会報告

2018年12月号

発行：仁比聡平国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参院議員会館815号室

03-6550-0815 FAX 03-6551-0815

日本共産党の見解を紹介します。



仁比聡平

【略歴】●1963年北九州市で新日鉄労働者の家に生まれる。小倉高校、京都大学法学部卒●弁護士（北九州第一法律事務所）、1999年から国政候補として活動、2004年参院選の比例区で初当選。13年参院選で議席奪還●議運理事、憲法、情報監視、予算、決算、国土交通、法務、災害委員などを歴任。現在は党中央委員、党参院国対副委員長●家族：妻／1女1男。